

JA お米の宅配便通信

2014
11月号

新嘗祭にいなめさひを通して感じたい、
収穫の喜びと感謝の心。

日本各地の農山漁村では
毎年、十一月二十三日に神社に新穀を捧げ、
その年の農作物の収穫を神々に感謝し、
お祝いをする「新嘗祭にいなめさひ」が行われています。

昔から日本人はこのような儀式を通じて
その恵みへの感謝、命の尊さへの思い、
生かされているという
謙虚な気持ちを伝え、

さらに「食べる」という行為を
神聖なものとしてきました。

食事を目の前に

「いただきます」という習慣にも
そうした意味が込められているのかも
しれませんね。

広島県では今年もおいしい新米が
収穫できました。
その喜びと感謝の心を込めて
皆様のお手元へお届けいたします。
ぜひ、お楽しみに。



「新米」は、

このマークが目印です!

皆様、ご承知のとおり、お米の種類は
様々。銘柄名はわかるけど、新米なのか
どうか、一見するとわかりにくい場合が
ありますね。そんなとき、目印になるの
がこのシール。お米の袋やパッケージに
どうぞこちらを目印にお求めください。



皆さまからのお便りお待ちしております!

○お米・ごはんまつわるエピソード ○地域の行事
○商品に関すること ○絵手紙 など、お気軽にお寄せください。

〒739-0008 東広島市西条吉行東2丁目3-41
JAお米の宅配便 事務局行き

FAX ▶ 082-431-3333

JA全農ひろしまホームページ内の「広島のお米」
ページに投稿フォームをご用意しています。

お寄せいただいたメッセージやイラスト・ぬりえは、
JA全農ひろしまホームページで紹介させていただきます。

JA全農ひろしまホームページ ▶ <http://www.jazhr.jp/>